

函館山の麓、西部地区がらまちづくりを考える

はこまち通信 クーポラ

2021.1

vol. **55**

新たな視点でまちづくりに取り組む

Mission3

生涯学習の活動支援 ※詳細は次ページ



本年もどうぞよろしく
お願い申し上げます。



3月31日(水)は
臨時休館日です。

まちづくりセンター
からのお知らせ



まちづくりセンタースタッフ全12名

Contents

特集 **生涯学習の活動支援** ...P2

市民活動団体のご紹介

函館生涯学習インストラクターの会

まちセンとSDGs ...P5

クーポラ便り／配布先・問い合わせ先 ...P6

INFO & TOPICS ...P7

センター長 丸藤の『**今伝えたいこと**』 ...P8



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

- まちづくりセンターで行われている講座案内や市民活動団体などの詳細は、ブログやホームページで公開中です。
- まちづくり、市民活動、各種助成金、移住・定住に関する問い合わせなど、お気軽にご相談ください。

発行／函館市地域交流まちづくりセンター

<http://hakomachi.com>



Mission3 生涯学習の活動支援

地域の課題を解決するため、まちづくりセンター(以下まちセン)は2007年のオープン以来、5つのミッションを掲げて活動してきました。2020年度は従来の手法にとらわれず、『新たな視点』を常に持ち続けながらミッションに取り組んでいます。今回は『生涯学習の活動支援』をテーマに、まちセンスタッフでこの13年間を振り返りながら、今後について話し合いました。(2020年11月21日)

——まちセンがこれまで取り組んできた『生涯学習の活動支援』を大きく分けると、以下の3つに当てはまります。



①『学習機会』の支援

- 市民活動団体等の活動(定例会・勉強会・講演会・写真展・絵画展等)を支援
- フリーWi-Fiの導入
- 自習スペースの提供(1階・3階)
- まちづくりの宝箱の設置
(2019年12月リニューアル)
- チラシ・ポスター掲示により、市民に『学びの機会』を提供(まちセン以外の会場も)
- 教育機関・高文連などの活動や展示を支援

②地域学習や、市民の要望による講座の開催

- 施設見学や自主研修、地域学習で訪れる小中高生のみなさんからの質問にスタッフが回答。インターンシップの受け入れなど。
- 東日本大震災(2011年)北海道胆振東部地震(2018年)を機に「防災・減災」をテーマにした企画展や講座を開催。

③主催事業・共催事業

- NPOまつり(2020年は中止)
- 夏休み工作フェスティバル(2020年は中止)
- NPO法人日本トイレ研究所 加藤 篤さんを講師に招いての講座を開催(2020.10.31)

※詳細はP7をご覧ください。

2020年度の主な取り組み



photo①



photo②

photo①
函館ぶら探訪 集合場所
(箱館歴史散歩の会)

photo②
まちセンイベントカレンダー
函館道南のイベントが一目でわかる

photo③
はこだて検定を控える受験者からの
質問に答えるスタッフ
(はこだて検定合格者の会)



photo③

2019年度の主な取り組み



photo④



photo⑤

photo④
インターンシップの様子(2019年)

photo⑤
北海道函館西高等学校(2019年)

photo⑥
まちづくりの宝箱
2019年12月リニューアル
(まちづくりセンター3階に設置)

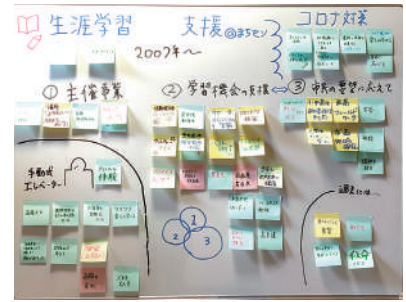


photo⑥



■課題解決に向けての新たな視点

- 小中高生の地域学習・見学への対応
→楽しみながら学べるまちセンらしいプログラムの提案
- スマホやオンラインを活用した非接触型イベントの実施
→スタッフのスキルアップ
- 感染症対策をさまざまな角度から検証
→最新情報の収集・冬の換気対策の徹底



座談会終了時のホワイトボード(2020.11.21)

スタッフによる 座談会より

コロナ禍でも動きを止めなかった取り組みのひとつに「函館道南の小中高生の『地域学習』への対応」があります。今年も9～11月にかけて、地元の小中学校から見学申し込みが寄せられました。毎年受け入れている高校生への『地域学習』も、感染症対策を講じたうえで受け入れました。

ご希望の方には、昭和9(1934)年に設置された手動式エレベーターを案内しています。みなさんが大人になってもまちセンで学んだことが記憶に残ってくれたらうれしいですね。

昭和9年の函館大火や、その翌年にはじまった函館港まつりのことを、まちセンの手動式エレベーターに乗ったり、階段の大理石にさわったりしながら学べるのがいいですね。まちセンをきっかけに、子どもたちが函館の歴史に興味を持ったり、函館のことを好きになってくれたら、このまちはもっと変わってくるでしょう。伝える私たちも、正しい知識をしっかりと身につける必要がありますね。

毎年秋に催される「はこだてカルチャーナイト」は、感染症対策を講じた『非接触型』イベントへとシフトしました。コロナ禍にあっても楽しみながら学べるスマホを使った新しいスタイルに可能性を感じました。『すべての年代で』実施できるかどうかは難しいかもしれませんが、まちセンでも検討の余地はありそうです。

「まちづくりは人づくり」とよく言われるとおり、市民の『学ぶ機会』が失われることは地域の損失でもあります。2020年はブレーキを踏むしかありませんでしたが、ウイルスのことが少しずつ分かってきたこれからは『開催への可能性』を探っていきたいですね。

スタッフに寄せられた 主な質問

- ・函館の歴史や文化について
- ・西部地区の昔と今について
- ・建物の歴史や手動式エレベーターについて
- ・市区町村魅力度ランキング(ブランド総合研究所による『地域ブランド調査』)の結果や今後について
- ・中核市幸福度ランキング(日本総合研究所による調査人口20万人以上の中核市の一部が対象)の結果や今後について



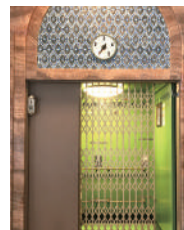
photo⑦



photo⑧



photo⑨

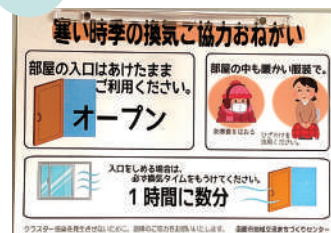


photo⑦
市立函館高等学校1年『地域探究』のみなさんと、説明するスタッフ

photo⑧
スマートフォンをかざしてQRコードを読み取る、非接触型のイベント「はこだてカルチャーモバイルクイズラリー」
※詳細はP7をご覧ください。

photo⑨
いか・さつこ・がごめ など、函館らしいキーワードを記した待合スペース。エレベーター搭乗希望の子どもたちが密にならないよう1階に待機場所を設置。待ち時間を活用して函館の歴史などをお伝えしています。

●まちセンの感染症対策(一例)



ドアを開放して貸室をご利用いただくよう呼びかけています



今は、きよりをとって



『今は、きよりをとって』のご案内



生涯学習とは、わたしたちが『生涯にわたって行う学習活動』です。『学校教育』『社会教育』『文化活動』『スポーツ活動』『レクリエーション活動』『ボランティア活動』など、さまざまな場や機会において行う学習の意味で用いられます。

また『生涯学習社会を目指そう』という考え方や、理念そのものをあらわしていることもあり、わたしたちひとりひとりの『生きていく姿』そのものに深くかかわっているといえます。まちセンが啓発・推進するSDGs(エスディーゼズ) 17の目標でも「質の高い教育をみんなに」を掲げています。

2020年度は開催を断念した活動や事業がありましたが、2021年度は『新たな日常』を取り入れながら、みなさんの『学びの場や機会』を絶やさぬよう、ひとつひとつ大切に取り組んでまいります。



●まちセンの感染症対策（一例）
みなさまのご協力をお願いします



市民活動団体のみなさまへ
市民活動を行う際に役立ててください



北海道コロナ通知システムQRコードの設置

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)からの北海道の市民活動の再開に向けた基本指針 Ver.1.0

新型コロナウイルス感染症が収束するまでの間、感染拡大防止に努めた市民活動を再開する必要があります。そのための私たちは、市民活動の再開に向けた基本指針を作成し、主な活動場面に合わせたポイントを確認しました。皆さんが、安心・安全に活動を行えるよう、また、これまで取り止めてきた市民活動のさらに再開する機会ともなるよう、ぜひご利用ください。

〔市民活動の再開に向けた10のポイント〕

- 登壇の活動から取り組もう●
 - ①健康管理を徹底し、手洗より1度以上高い発熱や咳など、風邪の症状がある場合には自宅で休もう。
 - ②マスクの着用や手洗いの消毒を徹底しよう。**※数中は注意!**
 - ③屋内で活動する場合は、1時間ごとに2回以上換気をしよう。
 - ④不特定の方が触るものは、定期的に消毒・洗浄しよう。
 - ⑤ソーシャルディスタンスを確保し、会場の定数を控えよう。
 - ⑥活動の参加者さまと記録しておこう。
- これをきっかけに活動を見直そう●
 - ⑦感染拡大防止や災害対策の方針をメンバーで確認し、その取り組みを共有・発信しよう。
 - ⑧感染拡大や自然災害に備えて、団体の備蓄を見直そう。
 - ⑨活動や運営にオンライン技術が導入・活用できないか検討しよう。
- イベントを実施するときに確認しよう●
 - ⑩イベントの特性にあった、感染拡大防止策を取り入れよう。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の予防と北海道における市民活動継続に向けた基本指針

まちづくりセンターで開催中の講座案内



書道・絵画

矢車会書道塾
まちづくり千絵画教室
絵画同好会イーゼル
油絵教室
己書道場



健康

ストレッチサークレア
田中式健康体操
木戸口教室
エゴスキュー体操

お花

小原流函館支部
池坊いけばな教室
オフィスジュリア



手づくり

手づくりボランティア
工房「エンジョい」
吉田裕子パッチワーク教室
野呂洋裁教室

語学

ACTIVE 英会話
ハングル学習会
ECC ジュニア
十字街教室



その他

丸山信子収納講座
パチパチクラブ

お申し込み・お問い合わせ
(講師の連絡先) など
詳細はこちら▶



「まちセンで講座を開いてみたい」という方もお気軽にお問い合わせください

☎0138-22-9700



Hakodate Community



Design Center vol.55 2021年1月

活動
団体

市民活動団体のご紹介

会員募集中！
共に活動してみたい方は
気軽に各団体に
お問い合わせください。

～ 時には学び、時には教える ～ 函館生涯学習インストラクターの会

函館道南で活躍する生涯学習インストラクターやコーディネーターの有資格者が集まり、2002（平成14）年に設立。現在は資格の有無を問わず、生涯学習に興味がある方を随時募集しています。

活動は毎月第3木曜の『月例会』を中心に、各会員が持ち回りで担当しています。これまでのテーマは『折り紙』『絵手紙』『古文書』『音楽』『ゲーム』『旅』『歴史』『絵画』『終活』など。会員の体験や経験を自由に語ってもらっています。

「時には学び、時には教える」ことで視野が広がり、硬くなってきている脳を少しでも柔らかくできたら、と思っています。あなたの興味は何ですか？誰かに伝えたいこと、残したいものはありますか？まずは『月例会』（活動場所・函館市青年センター）にてお待ちしております。すべてはそこから始まります。

このほか年に一度、まちづくりセンターのギャラリーで『函館生涯学習フェア』を開催しています。わたしたちの活動を広く知ってもらう場として、作品の展示や体験メニュー等も用意しています。



第3回函館生涯学習フェアの展示より

●函館生涯学習インストラクターの会

会長／濱田 愷 事務局長／奥村 茂樹

設立／2002(平成14)年4月 会員数／16名 年会費／3,000円

住所／亀田郡七飯町大川4丁目21-15

電話／090-3117-0338(事務局 奥村) FAX／0138-65-3042

団体設立のきっかけや活動内容などの詳細はまちセンHPで
<http://hakomachi.com>



4 質の高い教育を
みんなに



まちセンとSDGs

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

●はこだて×市民活動×SDGs 発行しました

函館道南で活動するNPO・市民活動団体（70団体）をPR・広報する冊子です。各団体の活動内容の紹介に加え、SDGs17のロゴを入れました。

地域に新たなつながりや支援の輪を広げるため、この冊子を4年ぶりに発行しました。

まちセンHPにも掲載していますので、ご覧ください。

（発行：函館市地域交流まちづくりセンター）



Hakodate Community



Design Center vol.55 2021年1月

クーポン
便り

手動式エレベーターを「条件付き」で ご案内しています

まちづくりセンターの人気スポットといえば、昭和9(1934)年設置の手動式エレベーターです。スタッフの操作で搭乗できます。ご希望のかたは、1階インフォメーションまでお声がけください。

人数
2名まで



感染症対策に
ご協力を
お願いします。



人数は2名様までとなっております。

場合によっては少々お待ちいただくこともありますことをご了承ください。団体でご利用の際は、事前にお電話にてご相談いただくとスムーズです。

詳細はこちら▶



『はこまち通信クーポン』の【クーポン】とは？

教会などの屋根上部に取り付けられた、半球系の構造物を指します。

1923年に建てられた旧丸井今井呉服店函館支店をリノベーションし、2007年にオープンした函館市地域交流まちづくりセンター。その外観を印象づける『クーポン』を広報誌でも使用しております。



配布先・問い合わせ先

『はこまち通信クーポン』2021年1月 vol.55
次号は3月31日発行予定です(年4回)

発行/函館市地域交流まちづくりセンター
住所/〒040-0053 北海道函館市末広町4-19
TEL/0138-22-9700
FAX/0138-22-9800
開館/9:00~21:00
休館日/12月31日~1月3日
3月31日(施設点検のため)

<http://hakomachi.com>



このほか器材点検のため月1回程度、
臨時休館する場合があります。
詳しくはセンター内やWebで
お知らせしています。

建物裏手に駐車場あり。
2時間まで無料。

指定管理者/
NPOサポートはこだてグループ
(2007年4月~)



『はこまち通信クーポン』編集室だより

本年もよろしくお祈りします。これまでの価値観やアイデアがいかせず、活動できない状況が続いているかと思えます。活動を継続できるような情報や発想などをみなさまと共に考えていきます。

(編集長/谷口 真貴)

●主な配布先(敬称略)

函館市役所1F/亀田支所/湯川支所/銭亀沢支所/戸井支所/恵山支所/椴法華支所/南茅部支所/函館市中央図書館/渡島総合振興局/函館市企業局アクロス十字街/総合保健センター/函館市民会館/函館アリーナ/函館市女性センター/函館市青年センター/函館市公民館/函館コミュニティプラザGスクエア/函館市青少年研修センターふるる函館/中島れんばいふれあいセンター/函館市総合福祉センターあいよる21/函館市勤労者総合福祉センターサン・リフレ函館/亀田交流プラザ/どさんこ交流テラス(東京 有楽町)

取材に協力くださったみなさま、施設等

『はこまち通信クーポン』に関するご意見、ご感想をお寄せください。お名前、ご住所、お電話番号を明記の上、メール info@hakomachi.com まで



再開しました

まちセン茶論 サロン

市民と移住者の集い『まちセン茶論 (サロン)』を再開しています。10:30~11:30 (午前の部) と13:30~14:30 (午後の部) どちらかをお選びください。参加費無料、事前申込制、定員各5名。

まずはお気軽にお問い合わせください。はこだて暮らしコンシェルジュ谷口がご相談に応じます。

【今後の予定】 1月12日 (火)
2月 9日 (火)
3月 9日 (火)



感染症対策に気をつけて開催しています▶



開催未定

水曜マルシェ

地域のみなさま、出店されるみなさまの安全を第一に考え、12月末現在も開催を見合わせております。何とぞご了承ください。



再開未定:
ハンドメイドでつながる
水曜マルシェ (過去の様子)

はこだてカルチャー モバイルクイズラリー

2020.9.19~10.31

2020年はスマホを使ったクイズラリーに変更されました。この企画をきっかけに初めてまちセンを知ったという方や、手動式エレベーターに興味をもち、搭乗した方もいらっしゃいました。

(主催: 函館商工会議所青年部)



スマホに表示される
ヒントをもとにまちセンへ。
QRコードを読み取って
スタンプをゲット▶



災害時に知っておきたいトイレの備え

2020.10.31

講師に『NPO法人日本トイレ研究所』代表の加藤 篤さんをお招きしました。『避難生活がはじめて困ったことの1位はトイレの問題』という結果をもとに、実際に携帯トイレの使いかたを学ぶワークショップを行いました。参加者のみなさんよりさまざまな意見が寄せられましたので一部をご紹介します。

- 防災グッズに家族分の携帯トイレを追加します
- 感染症対策も必要となりますね
- トイレが真っ暗という設定でのワークショップが参考になった
- 人生初の携帯トイレ、いざ使ってみると簡単でした etc...

関連記事はこちら▶



各種お問い合わせ: 函館市地域交流まちづくりセンター ☎0138-22-9700





センター長 丸藤の「今 伝えたいこと」

恒例、まちづくりセンター2021年の「めあて」と「合言葉」を發表します。

「めあて」は、“コモンをみかく”

コモンには、「共通の、共同の、公共の、普通の、ありふれた」という形容詞と「共有地」という名詞の意味があります。内田樹著『コモンの再生』には、「みんなが、いつでも、いつまでもつかえるように気配りがされている場」と書かれています。



私たちはまちづくりセンターという共有の場を、力を合わせ磨き、大切にしていきます。

「合言葉」は、“レベチ”

もともとはギャル語でしたが、北海道日本ハムファイターズの中田翔選手が使うなどして、今ではよく聞く言葉になりました。意味は「レベルが違う」。

SDGsの取組や接客、流儀、意識等、全ての面で「さすがだね!」とっていただけるような結果を目指していきます。

2021年も、よろしくお願いいたします。
よい一年にいきましょう!



1F 喫茶コーナー cafe DripDrop

- 営業時間/10:00~16:00 (変更の場合あり)
- 定休日/水曜日・施設休館日
- 自家焙煎、ハンドドリップのコーヒーで一息つきませんか?

営業時間など最新情報はお店のSNSをご覧ください▶



☞【オススメ】 まちせんブレンド 380円
SDGsにちなんだ有機のブレンドコーヒーです。

1F 福祉の店 どんぐり 2号店

- 営業時間/10:00~15:00 ●定休日/土日祝日・施設休館日
- 授産製品を扱っています。函館みやげにオススメのクッキーをはじめ、布バッグや布ぞうりなどのハンドメイド雑貨も豊富です。

☞【オススメ】 土偶クッキー 800円(2枚×6袋入 税込)

[喫茶・ショップお問合せ先]

電話 0138-22-9700 函館市地域交流まちづくりセンター

